



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月14日

上場会社名 株式会社昭和システムエンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 4752 URL <http://www.showa-sys-eng.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 五十嵐 真貴 TEL 03-3639-9051
 定時株主総会開催予定日 2020年6月19日 配当支払開始予定日 2020年6月22日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月19日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,193	△0.3	500	4.9	509	4.9	343	5.8
2019年3月期	6,210	2.2	476	4.2	485	4.2	324	1.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	77.55	—	10.3	8.1	8.1
2019年3月期	73.28	—	10.4	8.1	7.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	6,492	3,440	53.0	777.59
2019年3月期	6,145	3,217	52.3	727.03

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,440百万円 2019年3月期 3,217百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	424	△17	△106	2,860
2019年3月期	410	△2	△105	2,561

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	106	32.8	3.4
2020年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	106	30.9	3.2
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	24.00	24.00		31.8	

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,900	△4.7	240	△9.1	245	△9.1	163	△11.3	36.84
通期	6,000	△3.1	490	△2.1	500	△1.8	334	△2.7	75.48

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	4,810,000株	2019年3月期	4,810,000株
2020年3月期	385,169株	2019年3月期	385,169株
2020年3月期	4,424,831株	2019年3月期	4,424,831株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、引き続き緩やかに回復してきました。しかしながら、通商問題を巡る緊張等の海外経済の不確実性や地政学上のリスクに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界経済に大きな影響を与え、景気の先行きは不透明さを増していくことになりました。

当社を取り巻く情報サービス産業においては、デジタルトランスフォーメーションに代表される新たなデジタルビジネスの創造や革新の流れの中で、AIやIoTといった最新テクノロジー分野への対応やセキュリティ対策の重要性が高まっております。また、新技術の高度化、多様化に対応するための技術者不足も課題となるなか、情報サービス産業に対する需要はますます拡大しております。

このような状況の中、当社は従来からの“Traditional IT Business”の維持・拡大、新たな“Digital Business”の獲得に努めてまいりました。

その結果、当事業年度の業績は、売上高6,193百万円(前期比0.3%減)、営業利益500百万円(前期比4.9%増)、経常利益509百万円(前期比4.9%増)、当期純利益343百万円(前期比5.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当事業年度より、従来の「BPOエントリー事業」から「BPO事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

① ソフトウェア開発事業

ソフトウェア開発事業は、売上高6,051百万円(前期比0.5%減)、売上総利益938百万円(前期比0.4%減)となりました。

② BPO事業

BPO事業は、売上高142百万円(前期比10.2%増)、売上総利益10百万円(前期は売上総利益0百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末の流動資産の残高は5,205百万円(前事業年度末比304百万円増加)となりました。主な要因は現金及び預金が299百万円増加したことによります。

(固定資産)

当事業年度末の固定資産の残高は1,287百万円(同42百万円増加)となりました。主な要因は繰延税金資産が40百万円増加したことによります。

その結果、当事業年度末の資産合計は6,492百万円(同346百万円増加)となりました。

(流動負債)

当事業年度末の流動負債の残高は990百万円(同34百万円増加)となりました。主な要因は未払金が57百万円減少したものの、未払消費税等が35百万円、未払法人税等が31百万円及び賞与引当金が17百万円増加したことによります。

(固定負債)

当事業年度末の固定負債の残高は2,061百万円(同89百万円増加)となりました。これは退職給付引当金が増加したことによります。

その結果、当事業年度末の負債合計は3,052百万円(同123百万円増加)となりました。

(純資産)

当事業年度末の純資産合計は3,440百万円(同223百万円増加)となりました。主な要因は配当金の支払106百万円による利益剰余金の減少及びその他有価証券評価差額金13百万円の減少があったものの、当期純利益343百万円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ299百万円増加し、当事業年度末には2,860百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は424百万円(前年同期は410百万円の獲得)となりました。

収入の主な要因は税引前当期純利益510百万円、退職給付引当金の増加89百万円、未払消費税等の増加35百万円であり、支出の主な要因は未払金の減少57百万円、法人税等の支払172百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は17百万円(前年同期は2百万円の使用)となりました。

主な要因は有形及び無形固定資産の取得による支出13百万円及び差入保証金の差入による支出5百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は106百万円(前年同期は105百万円の使用)となりました。

これは配当金の支払によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期見通しといたしましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延による経済活動の停滞や外出自粛による消費の動向等、影響の今後予測が困難であることに加え、通商問題をめぐる緊張や地政学上のリスクも依然として存在し、先行きの不透明感は一層増しております。

このような環境下、当社は2年目を迎えます中期経営計画「+transform」を推し進め、デジタルビジネスカンパニーへの成長を目指し、DX人材投資、AI等の技術研究を積極的重点施策として経営資源の有効活用を図ってまいります。

通期の業績見通しといたしましては、売上高は6,000百万円(前期比3.1%減)、営業利益は490百万円(前期比2.1%減)、経常利益は500百万円(前期比1.8%減)、当期純利益は334百万円(前期比2.7%減)を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症による当社業績への影響につきましては、顧客のIT投資の減少やプロジェクトの中断や延伸による稼働低下のリスクがあり予断を許さない状況が続いております。そのため新型コロナウイルス感染症の収束状況によっては、業績予想を修正する可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の業務は、現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び事業展開によっては、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,161,260	4,460,826
売掛金	703,265	714,226
仕掛品	18,743	10,352
前払費用	15,940	19,107
その他	1,440	966
流動資産合計	4,900,650	5,205,479
固定資産		
有形固定資産		
建物	94,843	94,843
減価償却累計額	△40,582	△45,069
建物(純額)	54,261	49,774
構築物	11,670	11,670
減価償却累計額	△7,523	△7,689
構築物(純額)	4,146	3,981
車両運搬具	6,030	9,980
減価償却累計額	△4,836	△830
車両運搬具(純額)	1,193	9,149
器具及び備品	43,801	46,018
減価償却累計額	△34,538	△36,640
器具及び備品(純額)	9,262	9,378
土地	101,043	101,043
有形固定資産合計	169,907	173,326
無形固定資産		
ソフトウェア	106	—
その他	3,332	3,332
無形固定資産合計	3,438	3,332
投資その他の資産		
投資有価証券	213,226	196,050
従業員長期貸付金	13,753	12,845
繰延税金資産	693,077	733,795
差入保証金	119,318	124,911
会員権	27,350	27,350
その他	5,230	15,792
投資その他の資産合計	1,071,957	1,110,746
固定資産合計	1,245,303	1,287,405
資産合計	6,145,954	6,492,884

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	246,002	254,177
短期借入金	10,000	10,000
未払金	110,406	52,777
未払費用	65,801	66,808
未払法人税等	103,950	135,008
未払消費税等	51,461	87,319
預り金	24,483	22,864
賞与引当金	343,944	361,280
流動負債合計	956,049	990,236
固定負債		
役員退職慰労未払金	60,973	60,973
退職給付引当金	1,911,926	2,000,965
固定負債合計	1,972,899	2,061,938
負債合計	2,928,949	3,052,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,500	630,500
資本剰余金		
資本準備金	553,700	553,700
資本剰余金合計	553,700	553,700
利益剰余金		
利益準備金	99,000	99,000
その他利益剰余金		
別途積立金	740,000	740,000
繰越利益剰余金	1,516,111	1,753,058
利益剰余金合計	2,355,111	2,592,058
自己株式	△200,688	△200,688
株主資本合計	3,338,623	3,575,570
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	57,759	44,518
土地再評価差額金	△179,378	△179,378
評価・換算差額等合計	△121,619	△134,860
純資産合計	3,217,004	3,440,709
負債純資産合計	6,145,954	6,492,884

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
売上高	6,210,810	6,193,309
売上原価	5,268,321	5,244,986
売上総利益	942,488	948,323
販売費及び一般管理費		
役員報酬	144,100	130,550
給与手当	92,418	92,022
賞与引当金繰入額	14,414	14,559
退職給付費用	4,930	3,991
福利厚生費	34,783	34,604
採用活動費	9,157	6,115
賃借料	63,430	65,009
減価償却費	6,406	6,078
支払手数料	18,616	18,998
その他	77,256	76,053
販売費及び一般管理費合計	465,515	447,984
営業利益	476,972	500,338
営業外収益		
受取利息	505	472
受取配当金	4,774	5,377
受取手数料	820	784
受取家賃	1,860	1,860
雑収入	284	340
営業外収益合計	8,245	8,834
営業外費用		
支払利息	43	43
固定資産除却損	62	82
営業外費用合計	106	126
経常利益	485,111	509,047
特別利益		
固定資産売却益	—	1,850
特別利益合計	—	1,850
税引前当期純利益	485,111	510,898
法人税、住民税及び事業税	172,455	202,629
法人税等調整額	△11,604	△34,873
法人税等合計	160,851	167,755
当期純利益	324,260	343,142

【売上原価明細書】

区分	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額 (千円)	比率 (%)	金額 (千円)	比率 (%)
I 労務費				
1. 給与手当	2,133,313		2,127,660	
2. 賞与引当金繰入額	329,529		346,720	
3. 退職給付費用	143,646		124,369	
4. 福利厚生費	375,859	2,982,349	378,019	2,976,770
II 外注費		2,185,474		2,136,480
III 経費				
1. 減価償却費	3,031		3,495	
2. その他	105,099	108,131	119,848	123,344
当期総製造費用		5,275,955		5,236,595
期首仕掛品たな卸高		11,109		18,743
合計		5,287,065		5,255,338
期末仕掛品たな卸高		18,743		10,352
当期売上原価		5,268,321		5,244,986
		100.0		100.0

(注) 原価計算の方法

ソフトウェア開発事業につきましてはプロジェクト別個別原価計算を採用しております。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	630,500	553,700	553,700	99,000	740,000	1,298,047	2,137,047
当期変動額							
剰余金の配当			—			△106,195	△106,195
当期純利益			—			324,260	324,260
自己株式の取得			—				—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			—				—
当期変動額合計	—	—	—	—	—	218,064	218,064
当期末残高	630,500	553,700	553,700	99,000	740,000	1,516,111	2,355,111

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△200,688	3,120,559	52,579	△179,378	△126,799	2,993,759
当期変動額						
剰余金の配当		△106,195			—	△106,195
当期純利益		324,260			—	324,260
自己株式の取得		—			—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)		—	5,180		5,180	5,180
当期変動額合計	—	218,064	5,180	—	5,180	223,244
当期末残高	△200,688	3,338,623	57,759	△179,378	△121,619	3,217,004

株昭和システムエンジニアリング(4752) 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

当事業年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	630,500	553,700	553,700	99,000	740,000	1,516,111	2,355,111
当期変動額							
剰余金の配当			—			△106,195	△106,195
当期純利益			—			343,142	343,142
自己株式の取得			—				—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			—				—
当期変動額合計	—	—	—	—	—	236,946	236,946
当期末残高	630,500	553,700	553,700	99,000	740,000	1,753,058	2,592,058

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△200,688	3,338,623	57,759	△179,378	△121,619	3,217,004
当期変動額						
剰余金の配当		△106,195			—	△106,195
当期純利益		343,142			—	343,142
自己株式の取得		—			—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)		—	△13,241		△13,241	△13,241
当期変動額合計	—	236,946	△13,241	—	△13,241	223,705
当期末残高	△200,688	3,575,570	44,518	△179,378	△134,860	3,440,709

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	485,111	510,898
減価償却費	9,438	9,574
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,408	17,336
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,781	89,038
受取利息及び受取配当金	△5,280	△5,849
支払利息	43	43
有形固定資産除却損	62	82
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,850
売上債権の増減額(△は増加)	△4,676	△10,960
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,633	8,390
その他の流動資産の増減額(△は増加)	759	△2,693
仕入債務の増減額(△は減少)	43,355	8,174
未払消費税等の増減額(△は減少)	791	35,857
未払金の増減額(△は減少)	23,760	△57,025
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,644	△83
その他	119	△10,301
小計	576,398	590,631
利息及び配当金の受取額	5,279	5,849
利息の支払額	△43	△43
法人税等の支払額	△171,539	△172,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	410,094	424,337
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,600,000	△1,600,000
定期預金の払戻による収入	1,600,000	1,600,000
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△2,622	△13,845
有形固定資産の売却による収入	—	2,727
投資有価証券の取得による支出	△1,765	△1,909
貸付けによる支出	△900	△2,000
貸付金の回収による収入	3,319	2,907
差入保証金の差入による支出	△620	△5,592
その他投資に関する支出(純額)	△189	△260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,778	△17,972
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△105,860	△106,798
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,860	△106,798
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	301,455	299,566
現金及び現金同等物の期首残高	2,259,804	2,561,260
現金及び現金同等物の期末残高	2,561,260	2,860,826

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に事業本部を置き、受注ソフトウェア開発、BPOを行っており、国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

販売費及び一般管理費をセグメント別に把握することが困難であるため、セグメント利益は売上総利益であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア開発事業	BPO事業	
売上高	6,081,972	128,837	6,210,810
セグメント利益	941,679	808	942,488
セグメント資産	23,567	71	23,639
その他の項目			
減価償却費	3,008	23	3,031
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,125	—	1,125

(注) セグメント利益の合計は、損益計算書の売上総利益と同額になっております。

当事業年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア開発事業	BPO事業	
売上高	6,051,274	142,035	6,193,309
セグメント利益	938,256	10,066	948,323
セグメント資産	23,752	59	23,812
その他の項目			
減価償却費	3,484	11	3,495
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,721	—	3,721

(注) 1. セグメント利益の合計は、損益計算書の売上総利益と同額になっております。

2. 当事業年度より、従来の「BPOエントリー事業」から「BPO事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

また、前事業年度のセグメントの名称は、当事業年度のセグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	23,639	23,812
全社資産(注)	6,122,315	6,469,072
財務諸表の資産合計	6,145,954	6,492,884

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない管理本部に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	3,031	3,495	6,406	6,078	9,438	9,574
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,125	3,721	1,497	10,123	2,622	13,845

(注) 1. 減価償却費の調整額は、主に本社造作設備及び器具备品の償却費であります。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に車両運搬具の購入額であります。

【関連情報】

前事業年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

すべて本邦の外部顧客への売上のため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

すべて本邦に所在している有形固定資産のため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
日興システムソリューションズ株式会社	1,336,310	ソフトウェア開発
日本ユニシス株式会社	624,996	ソフトウェア開発

当事業年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

すべて本邦の外部顧客への売上のため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

すべて本邦に所在している有形固定資産のため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
日興システムソリューションズ株式会社	1,292,970	ソフトウェア開発
日本ユニシス株式会社	628,997	ソフトウェア開発

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	727円03銭	777円59銭
1株当たり当期純利益	73円28銭	77円55銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益(千円)	324,260	343,142
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	324,260	343,142
期中平均株式数(株)	4,424,831	4,424,831

(重要な後発事象)

該当事項はありません。